

つばさ支援基金Ⅱ



骨髄増殖性腫瘍の PV(真性多血症)と ET(本態性血小板血症)の 医療費助成基金

助成金の
申請は
こちら

イーピーエス株式会社

リアルワールドエビデンス事業本部

臨床研究センター データサイエンス部

<https://shinsei-tsubasa-kikin2.com/>



つばさより

この度、骨髄性増殖性腫瘍の一種である真性多血症（PV）、本態性血小板血症（ET）を対象に支援基金Ⅱを発足いたしました。

PVは新たな治療薬も登場しており、患者さんの治療選択肢も増えてきましたが、ETはさらに新たな治療薬が待ち望まれている状況の中、疾患進行をくいとめるため薬剤費を自費負担で支払い、治療している患者さんも少なくないと聞いております。

近年の経済状況の悪化、薬剤費の高騰などにより患者さんの医療費負担は増えるばかりです。そのような背景の中、つばさの友誼団体である骨髄増殖性腫瘍患者・家族会（MPN-JAPAN）より、「PV・ETに対して効果的な治療法が開発されていても、医療費負担の増大が原因で治療を開始・継続できない患者さんが存在する」というお話がありました。かつて運営していた第一次支援金で長期闘病における経済状況の様子を理解できることもあり、そのような患者さんに対する経済的な援助ができないだろうか検討した次第です。

血液がん治療用の薬はすべて「一人でも多くの患者さんが治るように」と医・創薬の不断の尽力で開発されたものです。2025年3月現在、第一次期のつばさ支援基金実施時よりもさらに経済状況が悪化していることは衆知の通りです。MPN-JAPANの友人から、治療選択肢が限られているためその治療薬を自費で賄っている人もある、と聞きました。

いま「お金さえあればこの素晴らしい治療を受け続けられるのに」という患者さんを支えたいというつばさ支援基金発足時の理念にしたがって支援基金Ⅱは開始します。

これからもより多くの方々のご理解とご協力を心からお願いいたします。

NPO法人血液情報広場・つばさ 理事長 橋本 明子



支援を受けたい

助成をご希望の方は、下記をよくお読みになり、必要な添付書類をお手元にご準備の上、申請フォーム（<https://shinsei-tsubasa-kikin2.com/about>）より必要事項を入力いただき、ご申請ください。

PV（真性多血症）／ ET（本態性血小板血症）

■ 対象者

以下いずれかに該当するPVまたはETの患者さん
（PVまたはETの治療にジェネリック医薬品（後発医薬品）を使用されている方は対象外）

1. 年齢70歳未満のPV/ET治療薬を投与する患者さんで、高額療養費制度の多数回該当（以下、多数回該当）に該当する前の患者さん
2. 年齢70歳未満で条件1に該当する患者さんではないが、退職、健康保険の切り替え等で前年度の収入があり、前年の収入によって保険料の再算定を受けることにより、多数回該当に該当する前の患者さん
3. 年齢70歳以上かつ退職等で前年度の収入があり、前年の収入によって保険料の再算定を受けることにより、多数回該当に該当する前の患者さん

■ 助成額

（年収区分に応じた高額療養費の上限額－多数回該当の金額）×3か月分

■ 添付書類

- ・ 健康保険限度額適用認定証
※マイナ保険証の場合、お名前と限度額の適用区分がわかるマイナポータルの画面キャプチャでも可
 - ・ 医療機関・保険薬局発行の支払証明書・領収書等
※2025（令和7）年3月以降の日付が確認できるもの
 - ・ 医療機関・保険薬局発行の診療明細書または調剤明細書
※2025（令和7）年3月以降の日付と治療薬剤名が確認できるもの
- ※上記以外の書類につきましても、必要に応じてご提出をお願いする場合がございます。その場合は、つばさ支援基金Ⅱ事務局（prj-tsubasa2-ofc@eps.co.jp）よりご申請時に入力いただいたメールアドレスにご連絡いたします。

つばさ支援基金Ⅱにご寄付を

より多くの方々に助成するために、
つばさ支援基金Ⅱにご協力をお願いします。



- みずほ銀行 早稲田支店
普通口座：2367067
口座名：トクヒ）ケツエキジョウハウヒロバツバサ
- 郵便振替口座
口座番号：00160-8-763625
口座名称：つばさ支援基金

- 本件に関するお問い合わせ
特定非営利活動法人血液情報広場・つばさ 事務局長 長谷川万寿弥(ますや)
e-mail：kikin@tsubasa-npo.org
電話：03-3207-8503（日祭日を除く月～金 12時～17時）

NPO法人血液情報広場・つばさ <https://tsubasa-npo.org/>